

2025 年 9 月 16 日

日本不整脈心電学会
理事長 多田浩 先生

日本循環器学会
代表理事 小林欣夫
学術委員長 家田真樹
用語部会長 尾野亘

循環器用語「心嚢」の「心膜（腔）」への統一周知ご協力のお願い

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は日本循環器学会の活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、長年使用されてきた循環器用語「心嚢」の取り扱いについてご連絡申し上げます。

「心嚢」は心臓を包む二重の膜である心膜の内側と外側の間にできる空間を指す用語として、従来より広く使用されてまいりました。しかしながら、この用語は解剖学的にも用語的にも正しくないため、「心膜（腔）」に統一すべきとの意見が以前よりございました。

日本循環器学会ではこうした背景を踏まえ、また専門医試験のサマリー等で用語「心嚢」の使用が減点対象となっている現状を考慮し、用語の統一を図るべく当会「循環器学用語集 第 4 版 (<https://www.j-circ.or.jp/yougoshu/>)」において「心嚢液」「心嚢穿刺」「心嚢ドレナージ」「心嚢内圧」等を「心膜液」「心膜穿刺」「心膜ドレナージ」「心膜腔圧」へ変更しております。

つきましては、今後、循環器の先生方には学会発表等の場においても「心嚢」ではなく正しい用語「心膜（腔）」をご使用いただけるよう、貴学会の会員の先生方への周知活動にご協力をお願い申し上げます。

差し支えないようでしたら、お手数ではございますが貴学会のニュースメール等でご案内をいただければ幸いに存じます。

今後とも循環器連合としての連携を一層深め、循環器医療の発展に貢献してまいりたいと存じますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白